

平成23年度 卒業証書・学位記授与式

平成24年3月10日(土)午後1時より、本学記念講堂において平成23年度卒業証書・学位記授与式が挙行された。卒業証書および学士(歯学・薬学)を授与された者は、歯学部歯学科71名、薬学部薬学科112名、また、博士(歯学)を授与された者は、大学院修了者16名及び博士論文提出者4名であった。

本年度は薬学部6年制課程完成年度の卒業式となった。式典は多数の来賓ご臨席とご父兄及び教職員参列のもと華やかかつ厳粛に進行され、理事会を代表して影山英之理事長の祝辞と天野義和学長告辞があり、卒業生一同の代表として薬学部薬学科 緑川信幸君から答辞が述べられた。

さらに、成績優秀者賞授与が行われた後、壇上において卒業生、大学院修了者及び博士論文提出者の一人ひとりに卒業証書並びに学位記が授与され、閉式となった。

なお、各賞の受賞者は次のとおりである。

◆晴川賞 歯学部歯学科 児玉 節子 薬学部薬学科 緑川 信幸

◆優等賞 歯学部歯学科 石河 嘉矩 山田 一夢 薬学部薬学科 須藤 修治 工藤 央



祝 辞

理事長 影山英之

卒業証書並びに学位記を手にされます皆さんと、御臨席なされましたご父母各位に心よりお祝いを申し上げます。本日はまことにおめでとうございます。

皆さんにとりまして今日までの長い間には、多くのことを経験なされたことと思います。それらの出来事の一つ一つについて話すとなれば、限られた時間では到底語り尽くせぬ程の思いがあるに違いありません。経験から何を学ぶかは人それぞれにより異なるかもしれませんが、経験したことに無駄なことはなく、必ずや皆さんの人生に豊かな実りをもたらす良質な肥料となってくれることを信じております。

とりわけ志を持って望んで費やした本学で皆さんが「物事の本質を捉える大切さ」を学んで行ってくれば、私共にとってこれ以上の喜びはありません。何事も一朝一夕に出来ることばかりではありませんが、困難が全てでもありません。今、自分の前になすべきことがあれば、できぬ心配をするよりは、できたときの喜びを心に描いてやってみる事です。失敗は成功の母、何度でも立ち直る努力を厭わなければ挫けることは恥にはなりません。

今日の仕事を明日に延ばさず、今日の仕事としてやり遂げる事です。一日一日実行し、繰り返し積み重ね続けていく先に、新たな可能性が生まれ目標は達成されます。

これから後、皆さんが常に良識と善意を備え、社会から望まれる立派な歯科医師又は立派な薬剤師となつて、地域医療に貢献なされ世界平和に寄与してくれることを希っております。

千年に一度あるか無いかの大災害に遭遇し、人知では計り知れない被災を受けて尚、本日の晴れの卒業式を迎えられた皆様程、力強い存在はありません。本日はおめでとう。

告 辞

学長 天野義和

卒業おめでとうございます。ご父兄の皆様、ご子弟のご卒業おめでとうございます。

本日ここに、晴川学舎理事長影山英之先生を始めとするご来賓の方々にご父兄の方々をお迎えし、卒業式が執り行われますことを大学関係者一同は喜びに堪えません。

今回、大震災に遭遇した状況の中で、また、福島第一原発事故の風評の中で、諸君は医科系の学生として、正しい知識と判断の下で行動し、よく頑張ってくれました。そして今日、晴れの卒業式を迎えることができました。

また、薬学部は修業学年が六年制になって初めての卒業生を送り出すことが出来、大学関係者一同は大変嬉しく思っています。

歯学部、薬学部の修業学年六年制の学生生活を長く感じたかも知れません。しかし、過ぎてみれば短い期間に思われ、色々なことが走馬灯のように浮かびあがって来ることを実感すると思います。この奥羽大学で過ごした学生時代の期間と、卒業するにあたっては、勿論、本人の努力があつて今日に至った訳ですが、精神的にも、経済的にも親御さんからの絶大なる支援と周囲の友達の助けがあつたことを忘れてはいけません。自分一人で卒業できた訳ではないのです。卒業生の皆さんは歯科医師として或いは薬剤師として社会に巣立って行くこととなりますが実社会においても自分一人の力だけではなく周囲の人と共に協力して行くこととなります。

社会に出れば、学生時代とは異なり、多くの人と接触することになりますが、それらの人と摩擦が生じるのを防ぐため、即ち、周囲の人と波風が立たないようにするために色々規制する規則・法律があり、これを守らなくてはなりません。幸いにして奥羽大学の建学の精神「人間性豊かな医療人の育成」が皆さんの心身の中に育まれていて社会の中に自然に溶け込んで行くものと確信しています。

世情がめまぐるしく変動・進展して行く中で高齢化の社会が進み、高齢化社会における国民の健康維持が益々重要になってきます。歯科医師も薬剤師も国民の健康維持・向上を推進するには、なくてはならない職業です。教育機関あるいは病院や薬局のいずれの場所に勤務しても最初に勤務した場所での一年目の生活習慣・態度でその人の一生の生活スタイルが決まると言われています。自分の歩むべき方向をしっかりと見定め、授業の最終仕上

げとしての臨床実習・実務実習で今まで学んできた高度な専門知識と技術を基に積極的に歯科医師として或いは薬剤師として国民の健康維持・健康増進に貢献をし、患者さんに対しては安心され、信頼される歯科医師・薬剤師となって活躍してください。皆さんが歯科医師として、薬剤師として活躍されることが、特に東北の地域における今回の災害に対する医療面での復興に大きく貢献することになります。

卒業記念として植樹して頂きました「樺」の木は、巨木となって広がり、春には目を和ませる緑、秋には固体によって黄や赤に美しく紅葉に変化します。木は堅くて磨耗に強く、木目は磨くと美しい光沢を放ちます。理事長先生が「心みがかれて文化となる」という言葉を用いられることがあります。この言葉のように、ますます心を磨き、「樺」の木目の輝きのように、更なる専門知識と技術に研鑽を重ね、輝きを放ってください。木の葉が固体によって変化するように、各自の能力を生かし、各自の特徴をそれぞれの教育機関、研究機関、病院、薬局などの場所で、樺の木の枝が箒状に広がるように奥羽大学の卒業生としての誇らしい意気を示してください。

最後に皆様のご健康とご活躍をお祈りし、告辞とします。

答 辞

卒業生代表 緑川 信幸

厳しかった寒さも和らぎ、日を追うごとに春の陽気が感じられるようになった今日この頃、私たちは新たな一歩を踏み出します。

本日は、私たちのために、このような盛大な式典を催していただき、卒業生一同感激を新たにしております。ここに僭越ではございますが卒業生を代表して心より御礼申し上げます。

理事長先生、学長先生をはじめ、ご来賓の先生方、関係各位の皆様のご臨席、ならびにあたたかいお言葉を賜り、誠にありがとうございます。

思い起こせば、満開の桜の下、私たちは新しい学生生活への期待と不安を胸に本学へ入学いたしました。当初は不慣れなことが多く、戸惑うことも多々ありました。乗り越えなければならない困難も数多くありました。特にこの一年はこれまでの人生でも類をみない天災と人災に見舞われました。昨年の3月11日に発生した東日本大震災では、

本学の学生の多くが被災し、原発事故の影響もあり、学業を続けることが困難な状況となりました。しかし、同じ道を目指す友と助け合い、先生方をはじめ多くの方々のお力添えもあり、私たちは無事今日という日を迎えることができました。また、私たちが温かく、時に厳しく見守り続けてくれた家族にも心から感謝しています。

私たちは本日をもって長いようで短かった学生生活に終止符を打ち、この春よりそれぞれの道を進むこととなります。これから私たちが踏み出そうとしている社会はヒト、モノ情報などが急速に行き交い、社会の価値観も大きく変化し、将来像を描くことが困難な社会です。私たちの在学中にも世界規模では地球温暖化を代表とする環境問題、日本においては高齢化問題や産業の国際競争の問題など、科学技術や医療を取り巻く問題が次々と提起されてきました。このような問題に対

して、私たちが職務を通して果たすべき役割は更に大きくなると思います。本学で培った多くの知識や経験、技術を礎として、今日まで支えてくださった多くの方々の期待に応え、医療界、そして社会の発展に貢献していきたいと思っています。そして、日々自己研鑽に励み、人々への思いやりや慈しみの心を持った、人間性豊かな歯科医師、薬剤師を目指していく所存であります。

本日までご指導くださいました諸先生方や大学関係者の皆様に、厚く御礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、諸先生方やご来賓の皆様の一層のご健勝と、奥羽大学のますますのご発展を心より祈念いたしまして、答辞とさせていただきます。

博士(歯学)学位記授与

博士課程修了

Table with 3 columns: Name, Department, and Research Title. Includes names like 佐藤 直生, 海野 幸恵, 高橋 進也, etc.

論文審査

Table with 3 columns: Name, Department, and Paper Title. Includes names like 八木 幹彦, 黒田 栄子, 龍方 一朗, etc.

記念植樹

3月8日(木)午後1時より「躍進の像」前で平成23年度卒業生による記念植樹が行われた。

学生代表の歯学部6年生 中岡千恵里さんと薬学部6年生 香内綾さんから挨拶があった。

学長より謝辞として「地域医療や地域の復興にも貢献してくれることを希望します」とのお言葉をいただいた。

最後に参加した卒業生代表、教職員全員の手によって植樹されたケヤキに土入れが行われた。



謝 恩 会

歯学部

3月10日(土)ホテルハマツにて歯学部卒業準備委員会主催の謝恩会が開催された。

会では天野学長、大野歯学部長、神山父兄会長より卒業生に激励の言葉があり、卒業生それぞれが父兄や教職員へ感謝の言葉や思い出が語られていた。

薬学部

3月10日(土)ビューホテルアネックスにて、薬学部卒業準備委員会主催の謝恩会が開催された。天野学長、衛藤薬学部長より卒業生に励ましの言葉が送られ、鏡開きとともに謝恩会が始まった。教職員に対する感謝の言葉やそれぞれの尽きない思い出を語り合いながら、名残を惜しむ姿が見られた。



歯科医師国家試験合格者発表

2月4日(土)・5日(日)の両日行われた、平成23年度第105回歯科医師国家試験の発表が3月19日(月)にあり、本学歯学部を受験総数は123名(新卒71名)で、合格者は70名(新卒48名)、合格率は56.9%(新卒67.6%)であった。

薬剤師国家試験合格者発表

3月3日(土)・4日(日)の両日行われた、平成23年度第97回薬剤師国家試験の発表が3月30日(金)にあり、本学薬学部を受験者総数は126名(新卒112名)で、合格者は104名(新卒99名)、合格率は82.5%(新卒88.3%)であった。

人事担当者との懇談会

昨年の12月5日(月)・6日(火)の2日間、薬学部5年生を対象とした就職セミナーが本学メモリーにて開催された。病院、調剤薬局など112社184名の参加があり、本学学生と面談を行った。

懇談が始まると会場は活気に溢れ、熱心に人事担当者との面談をする姿が見られた。



郡山市からの感謝状

2月17日(金)、ユラックス熱海で行われた第14回郡山市社会福祉大会において奥羽大学の郡山市への社会福祉事業貢献が認められ、郡山市長から感謝状を受けた。

国際学会参加報告

歯学部

発表月日	国際学会名	開催地	演題	本学参加発表者
3月1日	国際歯科麻酔学会	ハワイ	知的障害者における日帰り全身麻酔下口腔メンテナンスは喪失歯を激減させる	八木下 健
			歯槽粘膜より付着歯肉への浸潤麻酔はより効果的である	山崎 信也
3月23日	米国歯科医学会	フロリダ	インプラント手術における静脈内鎮静法の研究	福島 雅啓

日本レーザー歯学会にて優秀発表賞受賞

昨年12月4日(日)に大阪で第23回日本歯科レーザー歯学会が開催された。歯学部の横瀬敏志教授は、演題「レーザー照射後にみられるOsteocyteでの遺伝子発現」を発表し、その研究内容が評価され優秀発表賞を受賞した。

横瀬教授は炭酸ガスレーザーを骨再生治療に応用するために、基礎的な研究を行っており、低エネルギーのレーザーを骨組織に照射すると、骨組織が増加することを発見していた。しかし、長年その詳しいメカニズムについては解明されていなかった。今回の研究ではそのメカニズムが細胞レベルで解明された。

横瀬教授によると、レーザーを照射した骨組織では、骨細胞におけるSclerostin遺伝子の発現が抑制され、これが骨形成亢進に深く関連するという。今後は更なるレーザーの歯科臨床応用のために基礎的なエビデンスを追及したいという。

カンジダ菌の歯周病促進作用

口の中に存在するカビであるカンジダ菌によって、歯周病菌の歯肉への侵入を促進することが歯学部口腔病態解析制御学講座 玉井利代子准教授により明らかにされた。

シャーレでヒトの歯肉細胞を培養すると、カンジダ菌と触れた歯肉細胞は、触れない細胞よりも歯周病菌を3倍取り込みやすくなる結果が得られた。歯周病菌は、動脈硬化や糖尿病の原因になる可能性もある。口のカンジダ菌を少なくすることは歯周病の悪化を防ぐだけでなく、全身の健康にもつながると考えられる。

この研究成果は国際的な学術雑誌である「Microbial Pathogenesis 51巻4号p250~254」に掲載され、福島民友新聞(1月11日朝刊)で紹介された。

オープンキャンパス

本学は3月25日(日)、シドニー五輪水泳100m背泳、銀メダリストの中村真衣さんを招き、オープンキャンパス特別講演会を開催した。今回は、歯科医師・薬剤師を目指す若い人に夢を持つことのすばらしさを伝えるために、「夢は生きるパワーの源～夢を持っていますか～」という演題で講演を行っていただいた。

講演では、中村さんの輝かしい栄光のライドとともに苦しさ、周りの人たちの支え、そして夢の話があり、参加者は感動に浸っていた。その他、各学部紹介、キャンパス見学、ランチ体験を行なった。



茨城県歯科医師会との災害協定

歯学部は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の直後、日本歯科医師会および日本歯科医学会からの協力要請に応じ、津波による身元不明者の検死活動を行ってきた。

この度、茨城県歯科医師会および茨城県奥羽大学歯学部同窓会から災害時身元確認活動の協力要請があり、平成24年2月2日(木)、奥羽大学学長室において、森永和男 茨城県歯科医師会会長、渡辺義宏 茨城県奥羽大学歯学部同窓会会長および大野 敬 奥羽大学歯学部長の三者間で、「災害時の身元確認活動に関する協定書」の調印式が行われた。

本学歯学部は、今後とも地域歯科医療の拠点として社会貢献活動を積極的に支援していきたい。



奥羽大学卒業生からの寄付金

3月14日(水)、学長室にて(株)福菱冷熱の矢部幸一会長と文学部2期生(仏文卒)である矢部浩

樹社長より奥羽大学への寄付金300万円の贈呈式が行われた。贈呈式に際して矢部社長は、寄付金を奥羽大学学生の皆さんに是非役立てていただきたいと述べられ、それに対して天野学長は、学生への大きな助けになると感謝の意を表した。この寄付金は、大学の図書購入代として学生に還元されることとなっている。



追悼



野沢先生を偲んで

平成24年2月10日(金)に野沢幸平先生が急逝された。

野沢幸平先生は、本学薬学部が開設された平成17年4月に、前任の星薬科大学から薬化学分野担当の教授として着任され、その後、有機化学や基礎化学、機器分析学、天然物化学、薬化学実習等、多くの教科で教鞭を執られました。その教育理念は、一部の学生から恐れられるほど、厳しくも熱心なものでした。先生は、大学が予備校や高校と異なるのは、教員が最新の研究に携わっていることだとおっしゃっており、ご自身も精力的に研究活動を行っていました。亡くなった前日も、普段通り夜遅くまで実験をされておりました。今でも研究室にいと、ふと先生が顔を出し、いつものように研究について熱く語り出すのではないかと感じてしまいます。

群馬県出身の先生は、東京から移った福島県の豊かな自然にとっても喜んでいました。学内の満開の桜や色鮮やかな紅葉、様々なキノコの

写真を撮ってみたい、大きな松ぼっくりを拾ってきたり、東京ではあまり見られない満点の星空に感動したり、日々の生活を楽しんでいるようでした。また先生は、学生時代から軟式テニスと、奥様の影響で始めた硬式テニスを趣味とされており、学内のテニスコートでも時折テニスをされていた姿が思い出されます。私が奥羽大学に赴任したのも、先生が星薬科大学で顧問をされていた軟式テニス部に所属していたのが縁でした。

私は、薬学部設立からこれまでの約7年間、先生から終始温かい指導を受けてまいりました。本年度、学位を取得することが出来ました。まだまだ教えていただきたいことも多く、残念でなりません。これからも先生のご遺志を受け継ぎ、多くの先生方と共に研究・教育で本学を盛り上げて行きたいと思っております。野沢先生、本当にありがとうございました。心からご冥福をお祈りいたします。

(薬学部 助手 中橋奨)

附属病院

JR東日本からの感謝状

東日本大震災で緊急停車した列車の乗客の避難誘導に当院の職員と学生が協力したとして昨年12月22日(木)JR東日本仙台支社より本学に感謝状が贈られた。

平成23年3月11日14時45分郡山駅発磐越西線下り列車は、地震発生時に奥羽大学歯学部附属病院患者駐車場前で緊急停車した。時同じく患者駐車場に避難していた職員と学生らがJR乗務員と協力し、約180人の乗客を同駐車場に誘導した。

その後、病院1階の食堂と2階の待合室を開放し毛布を配り、同日夜にJRが手配したバスが到着するまで、お茶やタオルを提供して支援を行った。



スペシャルオリンピックス

知的障害者のスポーツの祭典である2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島大会に2月10日(金)、11日(土)の二日間、附属病院より20名の歯科医師(うち臨床研修歯科医師10名)がボランティアとして参加した。

活動内容は競技に参加しているアスリート(知的障害者)の希望者に対して郡山歯科医師会の先生方と口腔内診査を行った。受診したアスリートの方たちの口腔内はたいへん綺麗で素晴らしい状態であり、歯を大切にしている彼らの意識の高さがうかがわれた。



平成23年度第6,7回医療安全管理研修会

昨年12月1日(木)17:30~18:30に、平成23年度第6回医療安全管理研修会を行った。佐藤穂子委員が個人情報保護管理について講演し、次いで、板橋仁委員が、院内感染予防対策について講演をした。

2月23日(木)17:30~18:30には、第7回医療安全管理研修会を行った。山崎信也委員長が、「医療機器の安全使用」として、最近の厚労省の歯科機器・材料事故報告の要点を紹介した。その後、釜田朗副委員長が「医療安全管理の義務」として、病院と歯科診療所の相違についての講演を行った。



自衛消防訓練

附属病院消防計画に基づく自衛消防訓練を昨年12月6日(火)に実施した。病院内で火災が発生し逃げ遅れた者がいるとの想定で、通報・初期消火・避難誘導等の手順を確認した。

救助袋による訓練では、本年度の新入職員が器具を利用して、5階からの垂直落下による避難を体験した。

その後訓練は屋外に移動し、消火器の操作を学んだ。炎が鎮火するまでの消火作業を行い、参加者は真剣な表情で訓練に臨んでいた。



父兄会

平成24年度歯学部・薬学部父兄会役員ならびに事業計画・予算についての内容は下記のとおりである。

歯学部

「平成24年度役員」

歯学部父兄会
会長 江良 謙次
副会長 月田 秀夫
監査役 中島 義真

「主な行事予定」

定時総会 平成24年 4月 4日(水)
平成24年 5月12日(土)
平成25年 3月10日(日)
共済基金委員会 平成24年 5月12日(土)
平成24年10月13日(土)
平成25年 3月10日(日)
幹事会 平成24年 5月12日(土)
平成25年 3月10日(日)

地域会(全体会・個別懇談会・懇親会)

24年6月24日(日)	東京	大森東急イン
24年7月 1日(日)	福岡	福岡ガーデンパレス
24年7月 8日(日)	大阪	大阪ガーデンパレス

「予 算」

(収入の部) 単位:円

科 目	本年度予算額
前年度繰越金	5,691,555
入 会 金	260,000
会 費	10,000,000
※地域会参加費	500,000
雑 収 入	3,000
合 計	16,454,555

(支出の部) 単位:円

科 目	本年度予算額
通 信 費	300,000
印 刷 費	150,000
会 議 費	1,400,000
消 耗 品 費	10,000
旅 費 交 通 費	1,500,000
慶 弔 費	150,000
雑 費	10,000
地 域 会 開 催 費	3,130,000
課 外 活 動 援 助 費	3,510,000
学 生 福 利 厚 生 費	1,350,000
奥羽大学歯学会協賛費	100,000
学 習 活 動 助 成 費	2,500,000
予 備 費	2,344,555
合 計	16,454,555

薬学部

「平成24年度役員」

薬学部父兄会
会長 小林 啓一
副会長 安藤 尚廣
監査役 志岐 順一

「主な行事予定」

定時総会 平成24年 4月 4日(水)
平成24年 5月18日(金)
平成25年 3月10日(日)
幹事会 平成24年 5月18日(金)
平成25年 3月10日(日)
保護者懇談会 平成24年 5月18日(金)
平成24年10月20日(土)

「予 算」

(収入の部) 単位:円

科 目	本年度予算額
前年度繰越金	28,043,264
入 会 金	800,000
会 費	11,200,000
雑 収 入	20,000
合 計	40,063,264

(支出の部) 単位:円

項 目	本年度予算額
通 信 費	200,000
印 刷 費	100,000
会 議 費	700,000
消 耗 品 費	50,000
旅 費 交 通 費	500,000
雑 費	150,000
課 外 活 動 援 助 費	1,800,000
学 生 福 利 厚 生 費	11,500,000
予 備 費	25,063,264
合 計	40,063,264

退職によせて



歯学部
成長発育歯学講座
歯科矯正学分野
教授 氷室利彦

東北歯科大学の第1回生として入学した1972年以來、四十年の長きにわたってお世話になりましたが、任期満了(5年)の平成24年3月末で退職させて戴くことにしました。本学で最も古いクラブであるジャズ研の結成や地方文化研究会とヨット部の顧問、学生部での指導、ロマリダ大学への留学に加えて、学会活動で貴重な経験を積むことができました。西口教授、山口教授とバトンをつなぎ同窓最初の教授を拝命したころは、講座の内外がたいへん困難な時でした。それでも臨床にストレートワイヤー法と機能的顎矯正治療をとり入れることで、臨床や研究で良い成果が生まれました。教職員や学生、保護者の方々に支えられ成長させて戴いた結果と思います。皆さま方に感謝するとともに母校の益々の発展を心より祈念しております。



歯学部
総合臨床医学
教授 久野弘武

平成24年3月末日をもって奥羽大学を退職いたします。平成7年10月に着任して以来、過去16年余りの間には大学をめぐる様々な出来事がありましたが、その都度みんなで力をあわせて困難を乗り越えてまいりました。現在、大学は東日本大震災と原子力災害という未曾有の困難に直面しておりますが、教職員、学生と同窓生が一体となって力をあわせれば、この困難な事態を必ず乗り越えられるものと強く信じております。教員として、また医師として過ごした奥羽大学での経験は私にとって生涯忘れえぬものになるでしょう。これまでお世話になった教職員、学生そして同窓生の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

同窓会日より

先生方におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、この度の東日本大震災に際し被災されました多くの同窓の先生方には、深くお見舞い申し上げます。

新潟県支部におきましては、現在37名の先生方が各地区の地域医療にて御活躍されております。支部の活動に関しましては、年1回の総会、忘年会を開催しております。忘年会におきましては同窓会本部であります大学より講師をお招きして学術講演会も開催しております。毎回ほぼ会員の半数程度の出席を得ておりますが、ここ最近若い先生方の出席率が低迷し、同窓会の求心力の低下も心配なところ です。

私であります、昨年の東日本大震災におきまして日歯の依頼により、新潟より6人宮城県にて検死業務を行ってまいりました。7日間で103例のデンタルチャートを作成し照合症例が18例ありました。検視業務を終えまして、たんに遺体番号であったご遺体が、検視により本名へと変わり御家族のもとへ帰って行った時はまさに人間の尊厳の回復であったと胸を締めつけられる思いでありました。被災地の1日も早い復興を願って止みません。

以上、簡単ではございますが同窓会新潟県支部の近況と、私の最近の出来事を書かせて頂きました。

(新潟県支部 小竹弘之)

同窓生のひろば



加来 良成(歯学部 15期生)

先ず初めに、東日本大震災の被害に遭われた同窓生及びご家族の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

大学卒業後、歯科医師として社会に歩み出しから早20年いろんな事がありました。その中でも多くの方同様、決して忘れられない出来事から1年が経とうとしております。

私は、震災から2カ月後の5月に同窓会東京支部会員の代表として同窓会本部総会へ出席しました。学内の建物は見るにも痛々しい状況で、会議を行った病院棟の壁の亀裂からは、雨漏りも見受けられました。学内職員に当時のお話を伺うと、学生や入院患者さん達の懸命な避難誘導、はたまた近隣住民の避難誘導までされた事をお聞きして頭が下がる思いでした。校舎の被害も甚大ですが、何より原発問題による風評被害で新入生が定員を大幅に下回るといふ出来事の方が心配になりました。

現在私は、本部同窓会学術委員並びに同窓会東京支部学術部長を務めさせて戴いております。そんな私ができる事と言えば、学術を通じて同窓生に元気を出していただくお手伝いぐらいしかできません。幸い身近にはグローバルな技術を惜しげもなく教えてくださる優秀な同窓生が大勢いらっしゃいます。最近東京支部では、年に4~5回の学術講演会を開催しております。まだ始動したばかりではございますが、他県からも同窓生が参加してくれます。講演内容によっては他校の先生方、技工士、衛生士までもが参加しております。もちろん本部の同窓会学術も全国より同窓が集い東京にて行った講演会では、全国の歯科大学同窓会主催の学術講演会の動員記録400名を更新しました。そして、今年の2月にも母校にて学生方にも参加していただき260名を越す講演会も行いました。こうして奥羽大卒の名声が上がり新入生が定員に満たされるように、少しでも母校に貢献できればと思っております。一言で歯科と言っても、基礎研究から美容まで幅広い分野がございます。これからも、日々研鑽していきける環境を同窓の先生方と共に歩んで行ける事を切に願います。

神野 睦美(薬学部 1期生)

時が経つのは早いもので、東日本大震災から1年が経過しました。皆様にとっても印象深い1年となったのではないのでしょうか。

さて、私は現在、福島県福島市内の調剤薬局に勤めております。震災から1年、調剤薬局として、そして薬剤師として経験したこと・感じたことを紹介したいと思います。

幸いにも、電気も水道もガスも使えたため、震災直後から片付けをしつつ通常業務へ戻りました。

翌週からは状況が一変。薬局内は多くの患者様で溢れかえりました。病院を受診できないが薬が必要な方、避難のために市内へ来た方など、さまざまな状況の方に対応できるシステムを早急に確立しました。

しかし、お薬手帳や薬情を基に処方箋を発行してもらったものの、規格が異なる、用法・用量が異なる、処方されていない薬剤があるなど、困難は多々ありました。お薬手帳などの情報源がない方に関しては、「血圧の薬は何種類飲んでた」「薬の色は何色だった」・・・など、あらゆる情報を聞き出し、対応しました。これを機に、私は、患者様へ投薬する際は、「何の薬か」「何色か」「この薬の特徴は」「飲み合わせが悪いものは」など、薬剤名は思い出せなくても、その薬剤を導くための「ヒント」を提示することを心がけています。

また、市内の体育館が避難所となっていたため、薬剤師ボランティアとしてとして活動させていただきました。私が活動した日は、岐阜県や三重県からのボランティアの方が一緒に活動してくれました。日本全国の方が支えてくれているんだと感じた瞬間でした。

“避難してきた方のために”“近隣で生活している方のために”と、皆様に元気を与えるつもりが、患者様の「ありがとう」「ここで薬をみてもらえてよかった」の言葉に日々励まされていたのは私自身でした。

これからは、こんな私に励ましと勇気をくれた方々のために、恩返しをしていきたいと思っています。

人事

〈昇格〉
大河原 四郎 旧 総務部 技術係長 新 総務部 管理課長 3月2日付

〈異動〉
酒井 章光 旧 総務部 管理課長 新 総務部 管理課長補佐 3月1日付

〈任用〉
伊藤 鍛 准 教授 薬学部 1月7日付
大原 宏司 助 教 薬学部 2月1日付

〈退職〉
川口 真弓 医療職員 看護部 12月31日付
波多江 崇 講師 薬学部 1月31日付
水野 幸恵 医療職員 看護部 2月29日付
吉田 優里加 医療職員 看護部 2月29日付
氷室 利彦 教授 歯学部 3月31日付